



眼瞼下垂

治療技術のパラダイムシフト

全切開を伴う現行の眼瞼下垂手術の大半は、
保健診療でも大学病院でも専門医院でも間違っています！

News Release



報道関係者各位

2021 年11月7日

Clinic Nine Fields

〒106-0046 東京都港区元麻布3-2-13 Style元麻布2F

TEL : 03-6388-0202 FAX : 03-6388-0203

デザイナーズ&アーティスツ 美容外科 Kunoクリニック

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1- 11-4-200大阪駅前第4ビル2階

TEL : 06- 6345-4910 FAX : 06-6345-7977

眼瞼下垂治療

眼瞼下垂は安易に切開法で手術しないで下さい！

当院でしか受けられない **Kunoクリニックオリジナル新挙筋法！**

カウンセリング無料！
お気軽にご相談下さい。

医療法人 美栄会



美容外科 デザイナーズ & アーティスト

Kunoクリニック

1 全切開せず
特殊固定糸だけの新治療法



2 持続率は
98.8% ※当院調べ



3 **タルミやクボミ、
多重ラインや左右差も
同時に改善**



4 **実績 15 年以上の職人技術
術中にご自身で開眼度を
確認可能**

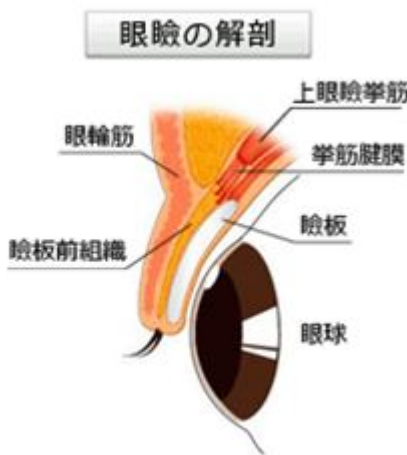


5 不十分な場合、**2ヶ月以内
再手術無料保証付**



6 後遺症が残らない
他の方法との組合せが可能
新挙筋法単独で根治が困難である場合





●真性眼瞼下垂と仮性眼瞼下垂の見分け方は？

ご自身で(鏡の前で)簡易診断が可能です。「瞬き(まばたき)ができれば真性」「瞬(まばた)きができなければ全て仮性」です。

つまり、眼瞼挙筋(瞬きをする際に瞼を挙上する筋肉)以外の表情筋(眼輪筋を含む目の周囲の筋肉群)を使わずに瞬(まばた)きができているのなら、全て仮性(全切開せずに治せる)眼瞼下垂です。挙筋とその運動を司る神経が麻痺または不可逆的な器質変容を起こしていないということですから、決して全切開や挙筋または挙筋腱膜まで展開する手術はすべきではありません！

●瞬きができる人に対して保険診療の眼瞼下垂手術が何故危険なのか？

その理由は明白です。真性眼瞼下垂でない限り、その方の機能している(まばたきができている正常な)挙筋や挙筋腱膜を一度切断する挙筋短縮術では、それまで自然に(滑らかに)伸び縮みできていた挙筋または腱膜が過収縮に転じ、細胞レベルで二度と正常な筋組織には戻らなくなってしまうからです。事実、切断した挙筋や挙筋腱膜を重ねて縫合する際には萎縮した分の計算まで正確にはできずに、上方三白眼や閉眼障害(兔眼)、開眼度の左右差等の不可逆的合併症が生じる事例が少なくなく、それでいて目頭と目尻側に派生している挙筋腱膜のブランチが大抵放置されているので、瞼中央のみ過挙上して目頭と目尻が下がったままの「三角まつ毛」や「三角目」の状態になる原因になっています。一方で、挙筋や挙筋腱膜を切断しない挙筋前転法はもっと深刻な合併症を招くことがあります。挙筋腱膜を1往復半折畳むことで短縮を図ったとしても、瞼の深層で滑らかに滑脱することが却ってでき難くなれば挙筋の筋力がまつ毛まで上手く伝わらずに、逆に開眼障害を併発し得るのです。また結紮の力が強すぎると挙筋や腱膜組織が一部壊死を起こし得ます。

更に、全切開した皮下の浅層から挙筋に至る深層までの間の組織に、ミクロレベルの線維化(創傷治癒過程で万人に起こる傷の修復現象の一つ)が生じるため、ガタガタした不自然な二重ライン、瞼の引き攣れや癒着のムラ(術後の内出血や炎症、感染等によって悪化することもあります)による凹凸、更なる過挙上(上方三白眼や兔眼)や閉眼障害まで生じるリスクが高いにも拘らず、当事者である担当外科医でさえその程度までは予測ができないのです。仮に極力予測や予防策を講じたとしても、ひとたび生じれば、今度はそれらの治療法が従来から(メスを用いる手術以外では)全く確立されていないのです。

●何故不適応な眼瞼下垂手術が横行しているのか？

本来、①の真性眼瞼下垂が保険適応対象で②の仮性眼瞼下垂は保険適応対象外なのですが、現状では②に対しても保険診療と見做してリスクの高い「拳筋短縮術」や「拳筋前転術」をさせてしまっているケースが散見されます。

その原因は、第一に全国の医師が眼瞼下垂の治療＝全切開を伴う拳筋短縮術(眉下切除や前転法を含む)しか方法が無いと思っていること、第二に「眼瞼下垂」と診断する際に担当医が主観(尤も、開眼時に眉も挙上してしまう方を眼瞼下垂という医師もいれば、前額を抑え込んで瞼が挙がりにくい方を眼瞼下垂と決めている医師もあります)で診断していること、第三に保険診療で許可されている眼瞼下垂の治療法が全切開を伴う拳筋短縮術(前転法を含む)しかないこと、第四に保険診療に(医師側の経営方針や金銭欲は別として)持ち込むためには「眼瞼下垂の疑い」病名をつける裁量が医師側に与えられていて、客観的に検証がなされていないということ(つまり、日本では保険診療にするための「疑い病名」が医師側の理屈でつけ放題であること)等の理由があります。たとえ適応に対して厳格または良心的な医師に担当してもらったとしても、一方で眼瞼下垂の治療を依頼された際に治療法そのものに全切開や切除をする術式以外の選択肢が与えられていないことが、不適応被害者が増加の一途を辿る原因になっているのです。

●眼瞼下垂と診断されても、上瞼の切開や切除は絶対にNG！

「拳筋短縮術」や「拳筋前転術」では、二重ラインがガタガタになる、瘢痕が硬くなる、引き攣れる、コブができる、目の形に左右差が生じる、瞼が閉じれなくなる(兎眼)、その結果ドライアイになる、却って瞼が開きづらくなる(医原的眼瞼下垂)、瞼が開きすぎて三白眼になる、睫毛が挙がらないか中央だけ過挙上となって三角目になる、ダウンタイムが3ヶ月前後かかる、慢性的な頭痛が生じる、等の合併症、問題点、後遺症がしばしば起こります。しかもそれらの後遺障害の治療法がメスを用いる方法以外では全く確立されておらず、殆ど場合は再切開や再切除によって更に症状が悪化してゆきます。

一日数千回も瞬きをする上眼瞼にメスを入れると、たとえ慎重な名医でも瘢痕治癒過程で生じる線維化、癒着、切断筋の萎縮、皮膚や真皮の厚みの差、開閉眼の自然さ等をmm単位で予測することは人間業である以上、絶対に不可能なのです。一方で、形成外科学では全切開や保険診療の眼瞼下垂治療における拳筋短縮術、前転法を成書記載の正当な手術法だと教えられており、それらの有効な代替法が無いと信じ込んでいるからこそ、正統論に拍車がかかっているのです。たとえ専門医でも大学病院でも、医師から眼瞼下垂だと診断されたとしても、或いは保険診療であったとしても、全切開を伴う「拳筋短縮術」や「拳筋前転術」、若しくは切開後の瘢痕を切開や切除、注入やステロイドで治療すると言われたら、決して手術を受けない方がいいでしょう。引き攣れや開閉眼障害が却って悪化して地獄の1丁目から2丁目に行くだけで十字架を背負わされるのは医師ではなく患者様自身なのです。

当院では独自に開発した新拳筋法によって全ての仮性眼瞼下垂と一部の真性眼瞼下垂を、全切開せずに治療できています。

→ <https://clinic-nine-fields.com/column/gankenkasui-00/>

眼瞼下垂治療 挙筋短縮・前転法の代替法 眼瞼下垂の治療 特集記事 編

<https://clinic-nine-fields.com/column/gankenkasui-00/>

先天性眼瞼下垂の治療 軽度若年性眼瞼下垂の治療 新挙筋法 編

[軽度若年性眼瞼下垂の治療【全切開しない眼瞼下垂治療】 | 美容整形の他院修正治療なら美容外科Kunoクリニック \(clinic-nine-fields.com\)](#)

先天性眼瞼下垂の治療 細目タイプの若年性眼瞼下垂の治療 新挙筋法 編

[細目タイプの若年性眼瞼下垂の治療【全切開しない眼瞼下垂治療】 | 美容整形の他院修正治療なら美容外科Kunoクリニック \(clinic-nine-fields.com\)](#)

先天性眼瞼下垂の治療 蒙古ヒダツッパリタイプの若年性眼瞼下垂の治療 完全オーダーメイドZ形成目頭切開&新挙筋法 編

[蒙古襞が目立つ方への眼瞼下垂治療【目頭切開&埋没法を用いた眼瞼下垂治療】 | 美容整形の他院修正治療なら美容外科Kunoクリニック \(clinic-nine-fields.com\)](#)

先天性眼瞼下垂の治療 クボミを伴う若年性眼瞼下垂の治療 新挙筋法 編

[眼瞼下垂と上瞼のくぼみを同時に改善【切らない眼瞼下垂治療】 | 美容整形の他院修正治療なら美容外科Kunoクリニック \(clinic-nine-fields.com\)](#)

先天性眼瞼下垂の治療 中等度未満の腫れぼったい若年性眼瞼下垂の治療 脱脂&新挙筋法 編

[瞼が腫れぼったい眼瞼下垂を全切開せずに治療【脱脂&当院式埋没術・新挙筋法】 | 美容整形の他院修正治療なら美容外科Kunoクリニック \(clinic-nine-fields.com\)](#)

先天性眼瞼下垂の治療 中等度以上の腫れぼったい若年性眼瞼下垂の治療 脱脂&新挙筋法 編

[全切開しない若い方への眼瞼下垂治療\(中等度～重度眼瞼下垂\)【脱脂&当院式埋没法】 | 美容整形の他院修正治療なら美容外科Kunoクリニック \(clinic-nine-fields.com\)](#)

二重整形「生来の眼瞼下垂修正 & 左右差改善」編

[切らない眼瞼下垂修正 & 目の左右差改善【二重瞼の整形】 | 美容整形の他院修正治療なら美容外科Kunoクリニック \(clinic-nine-fields.com\)](#)

後天性眼瞼下垂の治療 クボミと加齢要素が加わった眼瞼下垂の治療 編

[まぶたのくぼみと加齢による眼瞼下垂の治療【切らない眼瞼下垂治療】 | 美容整形の他院修正治療なら美容外科Kunoクリニック \(clinic-nine-fields.com\)](#)

後天性眼瞼下垂の治療 クボミと加齢要素が加わった左右差のある眼瞼下垂の治療 編

[切らない眼瞼下垂治療【瞼の窪みや目の左右差も一度の施術で改善】 | 美容整形の他院修正治療なら美容外科Kunoクリニック \(clinic-nine-fields.com\)](#)

後天性眼瞼下垂の治療 蒙古ヒダのツッパリと加齢要素が加わった眼瞼下垂の治療 編

[蒙古ひだが目立つ方への眼瞼下垂治療【加齢による後天性眼瞼下垂の治療】 | 美容整形の他院修正治療なら美容外科Kunoクリニック \(clinic-nine-fields.com\)](#)

後天性眼瞼下垂の治療 皮膚の厚みとタルミ、クボミや眼窩脂肪の厚みと加齢要素が加わった眼瞼下垂の治療 編

[眼瞼下垂治療【眼窩脂肪が分厚く瞼のたるみが目立つ方への全切開しない眼瞼下垂治療】 | 美容整形の他院修正治療なら美容外科Kunoクリニック \(clinic-nine-fields.com\)](#)

後天性眼瞼下垂の治療 他院 挙筋短縮・前転法後や埋没法術後の医源的眼瞼下垂の治療 編

[眼瞼下垂の修正治療【他院での目元の手術の失敗や後遺症による眼瞼下垂の治療】 | 美容整形の他院修正治療なら美容外科Kunoクリニック \(clinic-nine-fields.com\)](#)

二重瞼形成 上眼瞼 全切開法・切除法 修正 編

[二重まぶた切開手術後の失敗や傷跡の修正治療 Kunoクリニック | 美容整形の他院修正治療なら美容外科Kunoクリニック \(clinic-nine-fields.com\)](#)

睫毛の修正・開眼度の修正(切開後の新挙筋法) 編

[切らない二重切開術後の修正術\(まつ毛の向きや手術後に開き難くなった瞼の修正\) | 美容整形の他院修正治療なら美容外科Kunoクリニック \(clinic-nine-fields.com\)](#)

眼瞼下垂治療 他院術後修正 編

[瞼の傷跡は切らずに治せる！他院での眼瞼下垂術後の切開瘢痕治療\(目の整形術後修正\) | 美容整形の他院修正治療なら美容外科Kunoクリニック \(clinic-nine-fields.com\)](#)

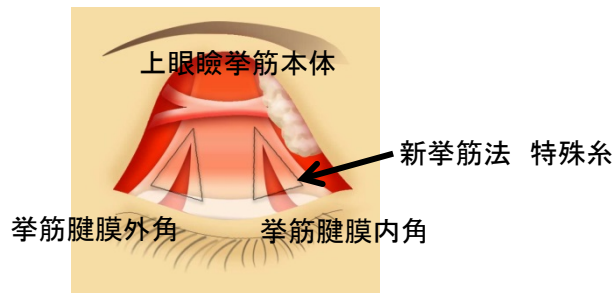
●全切開を伴う挙筋短縮法・前転法は**ハイリスク**！今は代替法が存在します。

最近では①の真性眼瞼下垂症例に対しても、新挙筋法を試みて一部に良好な結果を得ることができています。先ずはリスクや費用の低い新挙筋法から試みることも選択肢に入れ検討する価値があります。一見、真性眼瞼下垂に見える方々の中にも、挙筋は正常に運動するが挙筋腱膜が未発達である場合、挙筋の運動が相対的に弱いだけの場合(新挙筋法後のリハビリ期間が必要です)、挙筋の麻痺が(脳神経疾患などで)一時的な場合などは、新挙筋法の適応となって根治できた方が当院には多数いらっしゃいます。神経や筋肉が麻痺をしているのかどうか、薄く繊細な挙筋腱膜が十分に発達して存在しているかどうか、医師が診察してもMRIで検査しても(脳疾患など他に原因が判明する場合を除いて)殆どの場合、特定できないでしょう。従って、新挙筋法を試みることは理に適っています。

●瞬きができる**眼瞼下垂**の方は**全て**新挙筋法で治療可能です。

②の仮性眼瞼下垂症例では、もはや当院では一切の全切開を伴う手術(挙筋短縮術・挙筋前転法・眉下切開・切除法・前額リフト術など)は不要となっています。寧ろ、当院の新挙筋法では眼瞼下垂が治るだけでなく、挙上度が目頭から目尻まで揃えて左右の瞼ごとで微調整することができて、取り返しのつかない重篤な後遺障害を残しません。新挙筋法は埋没法の一種ですので、(目頭切開やマイクロ切開脱脂を併用する場合もございますが)傷跡は針穴だけで済み、万一の場合でも埋没法系を針穴から抜去、またはやり直すこともできます(リバーシブル)。結論を申しますと、**瞬きができる**(挙筋が麻痺していない)**眼瞼下垂の方は全て**、全切開を伴う挙筋短縮・前転法が不要で、**全例新挙筋法の適応**(つまり**十分に治療可能**)になります。

→ <https://levator.eyek-biyou.com/>

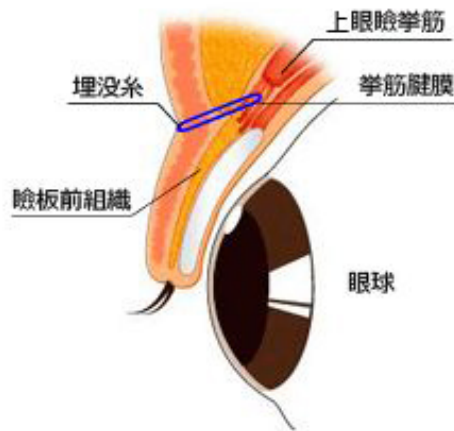


●代替法が存在するのは当院だけです。

当院の**眼瞼下垂根治のため新挙筋法**は当院が**独自に開発**した術式です。立体4Dデザインによる開眼度の左右差調整もでき、過去の症例のDATA集計によると、2針4点固定以上で(原因によってマイクロ切開脱脂やオーダーメイドZ形成目頭切開を併用することがございますが)**眼瞼下垂の根治率が9割前後、再発率が1割未満**です。術後2ヶ月前後すれば、瞼の折り畳みや開閉眼が安定してくる傾向があり、永続的な治療効果も充分に見込めます。仮に再発した場合でも、1針2点以上の追加施術で更に安定化を図ることができます。つまり新挙筋法とは、全切開をせずに(恰も各個人の瞼の深部を透視するかの如く左右で適切な部位に頑丈な糸をかけて)挙筋腱膜をタッキングする**新しい概念の挙筋腱膜短縮術**なのです。

ここで最も重要なのは、当院の新挙筋法のオーダーメイドデザインは瞼平面上の折り畳み位置のみならず、折畳ませる方向と深さ、開閉眼の動きまで個別にデザインに反映し、必要時には左右で異なる4Dデザインを行っているため、**開発者自身である当院でしかできない特殊な職人技術を要すること**です。

(他院ではできません。過去に細かく指導した形成外科医がいましたが、終ぞ彼はたった一度もできたことはありませんでした。)



新挙筋法の概念図

●既に眼瞼下垂治療を受けてしまって、切開瘢痕が目立つ場合には？

当院では新技術を開発して**切開瘢痕そのものや合併症を根治した症例実績が多数**ございます。

この治療法は当院**独自に研究開発**した技術です。

本術式は上眼瞼の**全切開術後瘢痕(傷跡)**を、**メスを用いず**に**特殊な技術で全例治療**しています。目頭切開や全切開法によって生じた開閉眼障害やガタガタライン、過剰切除、不自然な目の形、兎眼、上方・下方三白眼、左右差、等様々な問題を治せる技術が当院にはございます。特に、兎眼や上下三白眼(四白眼も)では当院以外の全てのクリニックにおいて恐らく再切開、切開後の癒着剥離、皮膚移植等の術式を勧められると思いますが、当院では**根底から治療法のパラダイムシフト(抜本的進化)**をさせることに成功しましたので、過去全例**全切開も皮膚移植もせず**に治療や症状の改善ができており、独自に実績を積み重ねています。

(※「二重整形術後修正」**切らずに瞼の傷跡が治せる！眼瞼下垂術後の切開瘢痕 術後修正 編**」に詳細記載)

→ <https://clinic-nine-fields.com/column/eye05/>



本件のお問い合わせ先 医療法人 美来会
TEL : 0120-454-902 E-Mail : info@k-biyou.com
*詳細は当院ホームページをご覧ください
<http://www.k-biyou.com/index.html>



医師紹介

九野 広夫 理事長 略歴

平成04年04月:和歌山県立医科大学医学部医学科入学

平成10年03月:和歌山県立医科大学医学部医学科卒業

平成10年04月:和歌山県立医科大学付属病院臨床研修医

平成10年06月:医師国家試験合格 救急・集中治療室、消化器外科、内科、癌集学的治療部、麻酔科を経る。

平成12年04月:和歌山県立医科大学付属病院臨床研究医

平成14年04月:アサミ美容外科大阪院 勤務

平成14年10月:アサミ美容外科大阪院 院長就任

平成19年11月:アサミ美容外科大阪院 院長職辞職

平成19年11月:美容外科デザイナーズ&アーティスツ Kunoクリニック 梅田院院長 就任

平成25年07月:美容外科デザイナーズ&アーティスツ Kunoクリニック 総院長 就任

平成25年09月:日本で第一例目のVSSERを用いたリンパ浮腫根治術を行う。

平成25年12月:医療法人 美来会 理事長 就任

■資格

・美容外科学会認定専門医・VASER Hi Def認定医・VASER 4D Sculpt（ベイザー4D彫刻）認定医

■所属学会

・日本美容外科学会（JSAS）正会員・日本美容外科協会会員・日本形成外科学会会員・日本臨床毛髪学会会員・
日本美容医療テクノロジー学会正会員・国際美容外科学会（ISAPS）・